

令和 2 年度  
グループホーム 鶴翠  
事業報告書



(1) 基本方針

認知症という病気から自宅での生活が困難になったご利用者に「もう一つの家」と思ってもらえるような環境を作り、本来の自分らしい生活が出来る事を目的に支援を行います。

ご利用者個々の思いや生活の違いを介護サービスへ個別に取り入れ、ご利用者及びご家族の安心を提供していきます。

職員が「鶴翠の介護員」として自覚し、各々が自信を持てるように、随時研修を行います。また、それらの研修による介護員の質及びサービスの質の向上を目指します。

(運営方針)

- ① ご利用者のありのままを受け入れ、鶴翠で生活することで尊厳のある人生を送って頂けるように支援します。
- ② 体調管理や心身の状態観察と把握に努め、ご家族、ご利用者ともに、ホームでの暮らしに安心感を持っていただけるように支援します。
- ③ ご家族や地域の方々との交流を図り、いつでも来苑出来る施設を目指します。
- ④ 職員の能力・資質の向上を図り、施設サービスの向上に努め、様々な状況に対応できる支援を行います。

(重点目標)

- ① ご利用者に関する情報の重要性を理解する為の勉強会を行い、計画作成担当者や管理者だけではなく、介護員一人ひとりがご家族とのコミュニケーションの中で情報収集が出来るように取り組みました。

それらの情報をもとに個別のアセスメントを行い、グループホームで安心して生活する為に必要な支援は何かを考え、統一したケアを行うこと、モニタリング、再アセスメント、再試行を繰り返し、集団生活を行う上でトラブルがあるご利用者にも、ご家族にも安心が提供できるように取り組みました。

また、ご利用者の施設での生活状況をお手紙に写真を添えることでお伝えし、事故報告やトラブルのあった場合には出来るだけ早く正確で詳細な情報をお伝えすることで、ご家族へも安心が提供出来るように努めました。

ご利用者に生きがいを提供する為の取組として、行事企画は「準備から」を徹底し、職員も一緒に楽しむ企画の考案と実施を行いました。毎週水曜日には1階ユニットと2階ユニットの合同レクリエーションを実施し、ご利用者の楽しみの一つとなるように取り組みました。

- ② 主治医や看護師と連携を行い、異常時には早期に対処が出来るように、毎朝夕の状態確認と管理者への報告を行うようにしました。異常があった際に

はすぐに看護師へ相談し、協力医療機関、主治医、ご家族への報告を行い、早い段階で病院受診を行う事で、長期的な体調不良にならないように努めました。

また、ご利用者の急変時に早期に的確な情報を看護師やご家族に提供出来るよう、急変時の対応を徹底し、確認事項、必要書類の把握が出来るように勉強会を行いました。

空床日数の削減の取組として、ご利用者の入退去時の動きを理解し、退居先、受け入れ元の事業所との連携を行う事で、必要以上の空床が発生しないように取り組みました。また、定期的に営業を行い、問い合わせや申し込みがあった際には亀天会のお客様として受け入れが出来るよう、特に小規模多機能型居宅介護芳苑との情報共有を行い、次期グループホーム利用者の獲得だけではなく、亀天会全体のお客様の獲得が出来るように取り組みました。

- ③ 今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為に、ご家族、地域の皆様の参加が出来る取り組みを行っておりません。

ご利用者が地域を身近に感じることが出来るように、2ユニット合同のレクリエーションの実施や職員参加型の行事企画を実施し、ご家族と電話で話をして頂くことなどの支援に取り組みました。

また、地域とのつながりを切らないように民生委員、地域の病院の医療連携室、相談員、各地域の居宅へ定期的に訪問し、各種情報交換やグループホーム鶴翠の取組を理解して頂けるように、施設新聞の配布を行うことで、鶴翠の認知向上に取り組みました。

- ④ 毎月の勉強会の実施方法をグループワークに変更し、講師の意図することと鶴翠の方針の両方へ向かって職員が取り組めるようにしました。

これにより、ご利用者に対するケア方法、現在の課題について話し合うことができ、グループホームとしてのあるべき姿を理解しながら全員で統一した方向へ進むことが出来るように取り組みました。

ベテラン職員、若手職員、専門職それぞれの意見や提案、また、知識や技術を全員が聞くことで、職員それぞれがスキルアップし、ご利用者の困難事例にも職員個々が考えて取組み、チェック表や申し送り帳を使い情報共有することでさらに各々がスキルアップできるように努めました。

## (2) 利用者に対するサービス

### ● 食事の介助

食事が楽しみの一つとなり、出来るだけ長く口からの摂取が続けられるように支援しました。刻みやトロミが必要な場合であっても、適した器、盛り付けや刻みの大きさ、トロミの使用料等の検討を繰り返し行いました。また、必要に応じてご家族へ協力依頼を行い、嗜好品の提供や服薬時のオブラートの使用、適切な水分の提供方法を検討する等、重度化したご利用者であっても、出来る限り食事を楽しんで頂けるように取り組みました。また、健康管

理の為にも、一日の水分摂取量の目標値をご利用者個々に設定し、毎日クリア出来るように言葉がけの方法、タイミング等の把握に取り組みました。

- 排泄の介助

トイレで排泄が出来ることを目的としました。失禁回数とパッド使用枚数の削減が出来るように、ご利用者ごとの排泄状況をモニタリングし、集めた情報をユニット会で検討することで、ご利用者ごとの最適な介助に取り組みました。ご利用者ごとのタイミングや、排泄訴え時の仕草、表情等を把握し、日中、夜間共に出来るだけトイレでの排泄が出来ることを目指しました。

トイレ内の環境を整備することで、ご利用者に気持ちよく利用して頂けるよう、清掃の徹底、扉への目印、誘導場所の固定化に取り組みました。

- 入浴の介助

ご利用者全員に快適な入浴をして頂けることを目標に支援致しました。ユニット会で検討を繰り返し、個人の思いや希望の把握に努めました。

入浴拒否や介護抵抗のあるご利用者に関してはご家族と共に検討し、全員で共有することで統一したケアを行いました。ご家族の付き添いやシャンプーハットの準備、二人対応での入浴を行うことや定期的な入浴が習慣となるように支援することで、入浴への拒否の軽減に取り組みました。

- 更衣等の介助

ご本人の嗜好を大切に、意思に沿った衣類の選択と着用ができることを目的としました。衣類の整理をご利用者と一緒に行う事で、嗜好の把握を行えるよう、ご利用者の希望や好みをご家族と一緒に検討しました。

また、起床時、入浴時、臥床時の更衣時に身体チェックを行うことで、ご利用者の異変の早期発見に努めました。更衣の際には出来るだけご本人の残存能力を利用することで、出来ることを維持できるように努めました。

定期的な更衣によりメリハリのある生活と、その中に楽しみを感じて頂けるように支援いたしました。

- 健康管理

ご利用者の健康管理が出来ることを目的に支援致しました。毎日のバイタルチェックと食事量、水分摂取量に加え、毎日4回の室温、湿度のチェックを行い、健康状態の把握と環境面の整備を行いました。

協力医療機関や主治医へより細かく情報提供ができるように、バイタル異変時、急変時の確認事項の再確認を行い、毎朝夕の状態確認を行うように取り組みました。

また、身体状況の確認表を取り入れ、異変や皮膚状態の確認ができる体制を作りました。発見した内出血などの異変は事実を詳細に把握し、正確にご家族又は、主治医に報告が出来るような体制を整えました。

- 相談援助

ご家族、医療連携室、地域包括支援センターと相互の協力関係の構築が出

来ることを目的に支援致しました。運営推進会議は書面での実施になりましたが、日々のご利用者の状態を写真で同封するなど、ご家族との関係が切れないように努めました。また、各地域の医療連携室や居宅とのつながりを持ち、鶴翠の取組やご利用者の状況を理解して頂けるように、施設新聞を定期的に提供し、情報交換することに取り組みました。これにより相互に相談や協力ができる関係づくりを目指しました。

- 防火・防災対策

ケアハウス鶴翠苑との合同防災訓練を行いました。消防隊の協力もあり、より実践的な訓練に取り組みました。

定期的な施設設備の点検と、毎日の施設内破損個所の確認を行う事で、火災発生時の不具合予防に努めました。

また、防犯への取組として合言葉を決めて周知しました。

隣接事業所との連携強化に努め、勤務体制の確認と、消防自衛隊の業務内容の共有に取り組みました。

- 職員研修

外部での研修参加を促し、施設全体のスキルアップとサービスの質の向上に努めました。介護のスキルアップを目指すとともに組織についての研修に取り組みました。これにより、離職の予防と職員間の連携強化に努めました。

職員同士の声の掛け合い等、コミュニケーションの強化に取り組み、事故予防に努めながらすべてのサービスの提供が出来るように努めました。

また、内部研修への取り組み方を改善し、グループワークの活用等、全員が参加できるようにすることで、職員同士の情報共有の必要性の理解や連携の重要性も同時に学べるように取り組みました。

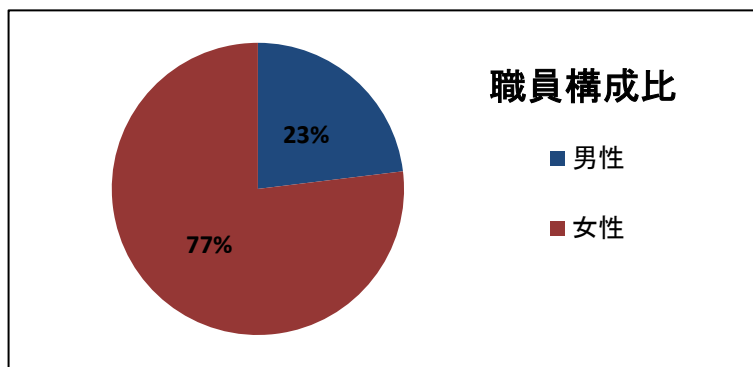


## 1. 事業所

### ① 概要

事業所名	グループホーム鶴翠		
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所住所	愛媛県西条市大野284番地2		
管理者職名	管理者 藤原 和哉		
職員数	男性	女性	総数
	3	10	13

(令和3年3月31日現在)



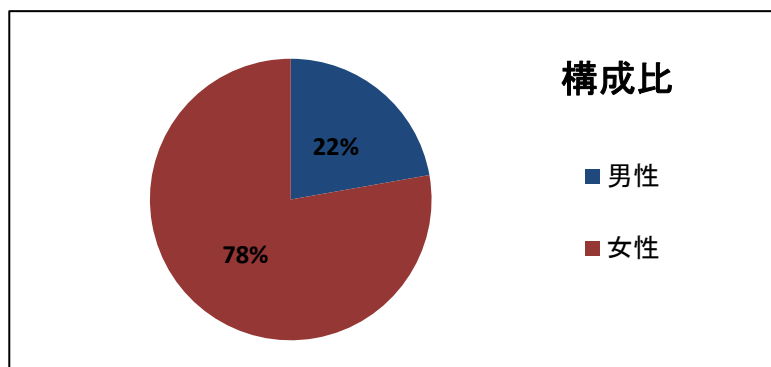
### ②職員紹介

グループホーム鶴翠は、運営責任者1名、管理者1名、計画作成担当者2名(内ケアマネージャー1名、看護師1名と、介護員15名(内技能実習生4名)で構成されております。

管理者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護実践者研修、介護支援専門員、介護福祉士、認知症介護初任者研修、ヘルパー2級等、認知症介護に関する専門的な知識と技術を持った職員を配置し、認知症高齢者への、専門的なケアと安全な生活が提供できるよう、職員全員が施設運営に取り組んでおります。また、技能実習生と職員が相互に影響し、互いの意識向上と施設全体のスキルアップへ繋がるよう取り組んでおります。

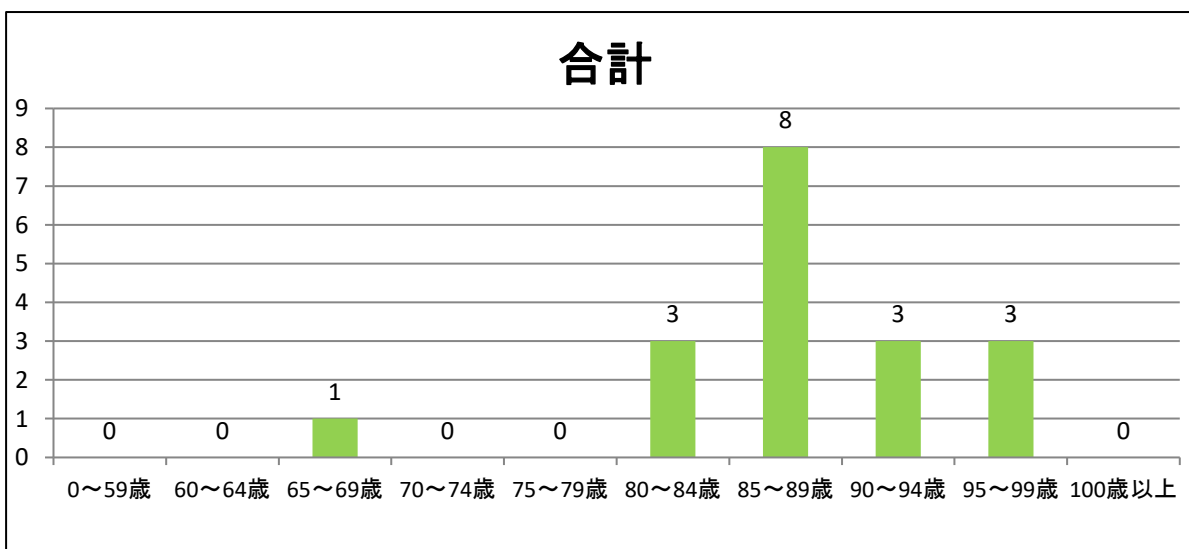
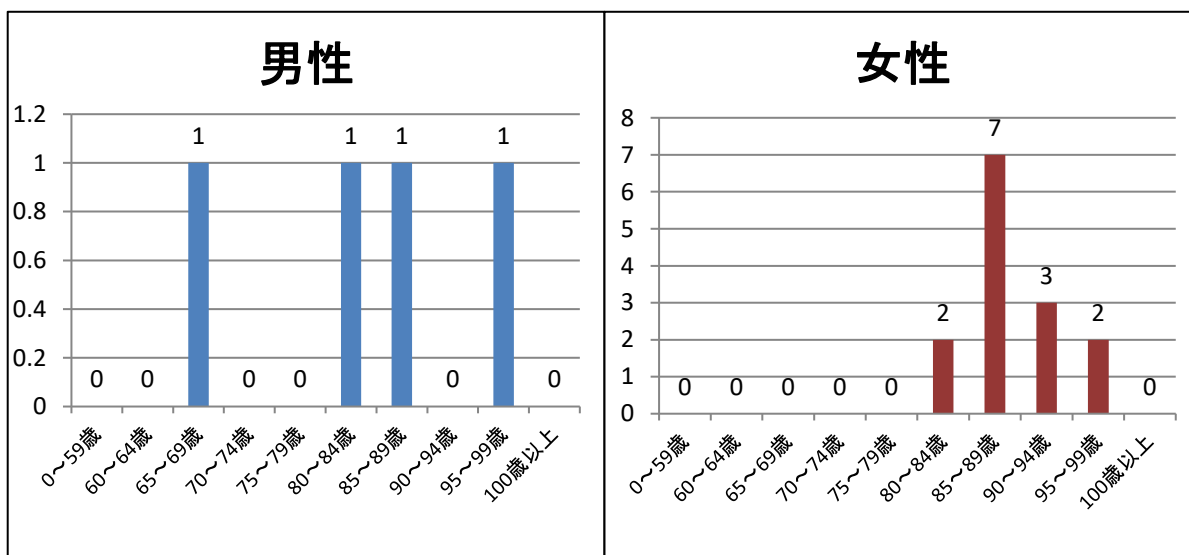
## 2. 定員及び現在人員(令和3年3月31日現在)

定員(名)	現在人員(名)	性別	
		男性	女性
18	18	4	14



### 3. 年齢別人員

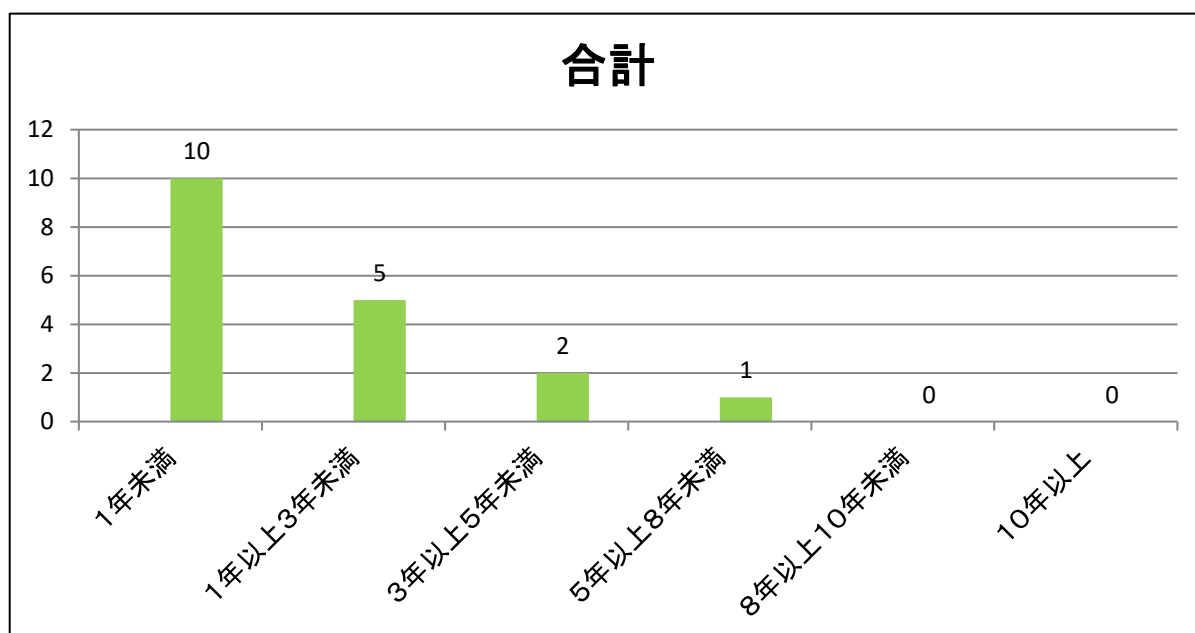
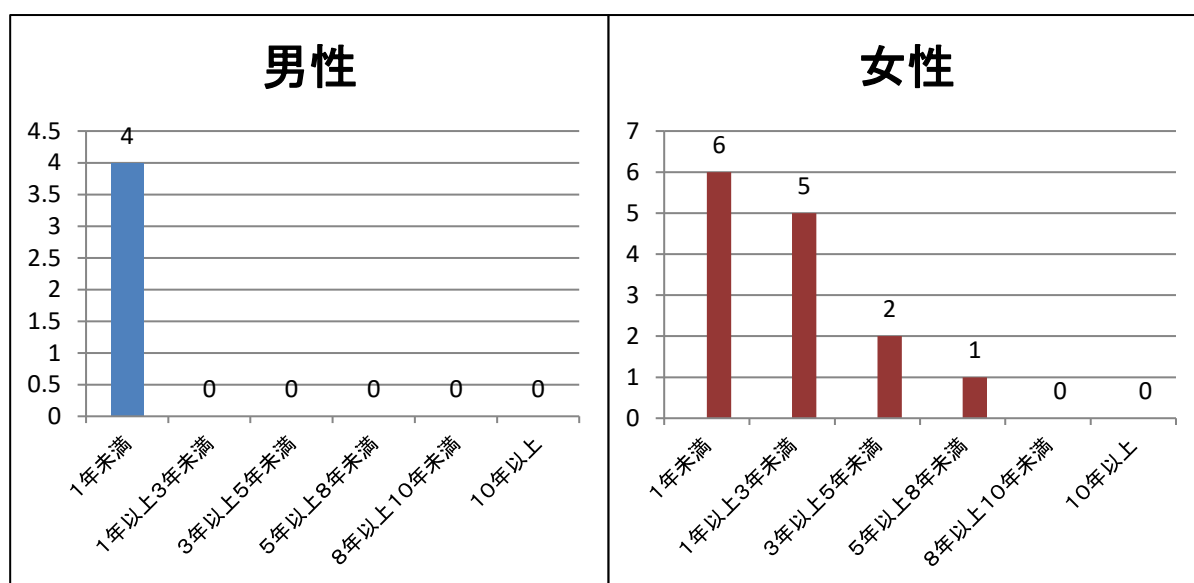
	男性(名)	女性(名)	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	1	0	1	6%
70～74歳	0	0	0	0%
75～79歳	0	0	0	0%
80～84歳	1	2	3	17%
85～89歳	1	7	8	44%
90～94歳	0	3	3	17%
95～99歳	1	2	3	17%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	4	14	18	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	95	69	84	
女性	96	80	88.6	





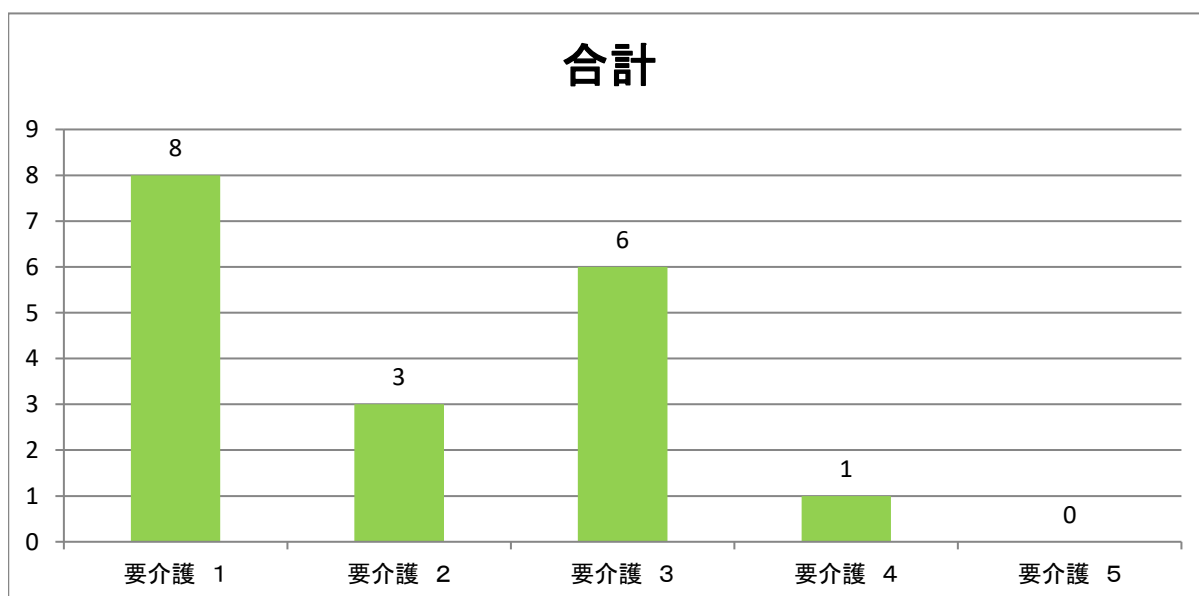
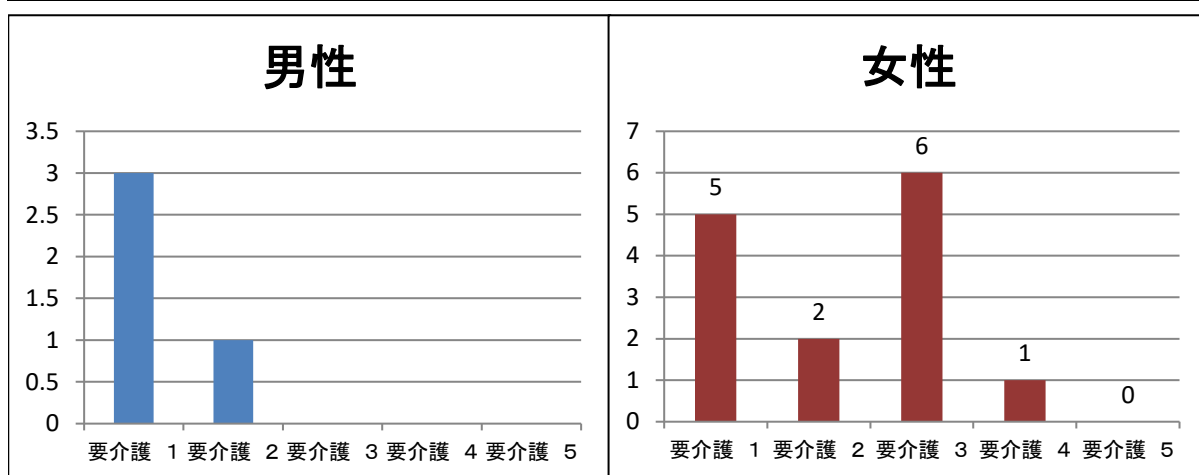
#### 4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	6	10	56%
1年以上3年未満	0	5	5	28%
3年以上5年未満	0	2	2	11%
5年以上8年未満	0	1	1	6%
8年以上10年未満	0	0	0	0%
10年以上	0	0	0	0%
合計	4	14	18	100%
平均入居期間	3カ月	1年5カ月	全体	1年2カ月



### 5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	3	5	8	44%
要介護 2	1	2	3	17%
要介護 3	0	6	6	33%
要介護 4	0	1	1	6%
要介護 5	0	0	0	0%
合計	4	14	18	100%
平均介護度	1.25	2.21	全体	1.73



### 6. 面会状況(令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日迄の1年間)

総数	0人
1か月平均	0人/月
最高(1人あたり)	0回/年
最低(1人あたり)	0回/年
年間1人平均	0
1か月1人平均	0

## 7. 研修実施状況

### 【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	接遇について	介護職員	11
5月	リスクマネジメントについて	介護支援専門員	9
6月	感染症対策について	介護職員	9
7月	身体的拘束廃止について	介護職員	14
8月	緊急時対応について	介護職員	13
9月	防災・防犯対策についてについて	介護職員	13
10月	認知症の種類と介護技術について	介護職員	14
11月	感染症対策について	亀天会診療所 看護師	15
12月	虐待防止について	介護職員	13
1月	ケアプランについて	計画作成担当者	12
2月	個人情報について	介護支援専門員	10
3月	身体的拘束廃止について	介護職員	10

### 【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
12月	講習	タイムマネジメント講習	介護職員
2月	講習	今さら聞けない〇〇フォローアップ研修	看護師
3月	講習	技能実習指導員講習	介護職員
3月	講習	技能実習責任者講習	介護職員
3月	講習	技能実習生活指導員講習	介護職員

## 8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

### 【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	介護職員	おやつレク(春のねりきり)	18
	介護職員	お誕生日会	18
5月	介護職員	端午の節句	18
	介護職員	誕生日会	18
6月	介護職員	誕生日会	18
7月	介護職員	七夕会	18
	介護職員	誕生日会	18
8月	介護職員	合同レク(風船ゲーム・合唱・カラオケ)	18
	介護職員	ケアハウスと合同花火会	18

9月	介護職員	流しそうめん	18
	介護職員	敬老会	18
10月	介護職員	秋祭りと食欲の秋	18
	介護職員	運動会	18
11月	介護職員	文化祭	18
	介護職員	紅葉見学	18
12月	介護職員	誕生日会	16
	介護職員	クリスマス会	18
1月	介護職員	誕生日会	17
	介護職員	新年会(初詣・おみくじ)	17
	介護職員	鏡開き	18
2月	介護職員	節分	15
	介護職員	誕生日会	18
3月	介護職員	雛祭り	18
	介護職員	誕生日会	18

### 【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
月	新型コロナウイルス感染対策の為受け入れの実績なし		0

### 9. 苦情状況

#### 【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
8月4日	ご利用者の家族	ご家族が排泄介助の実態と紙パンツ類の使用状況の確認を行ったところ、介護員が不適切な報告をしたため、ご家族に不信感を与えることになった。正しい実数と状況を報告することでご家族は納得して頂きました。介護員には不適切な報告への指導を行いました。
9月23日	ご利用者の家族	ご家族がご利用者の夜間の状況を介護員に確認したところ、介護員の報告内容が的確ではなく、言葉遣いにも原因があった為、不信感の訴えがありました。正しい状況報告を行うことで整合性が取れたため、ご家族に納得して頂き、介護員へは言葉遣いの指導を行いました。
12月19日	ご利用者の家族	介護員がご利用者へ発した「何回言ってもわからんね」という言葉が原因でご家族からの苦情となりました。管理者から介護員へ注意することを伝え、納得して頂きました。介護員へは言葉遣いの指導を行いました。